



青木 武明 議員

## 問 町の単独運営について 答 住民のニーズを第一に

**問** 「広報ごか」一月号の町長所感で「原点にかえて将来の方向を見据え直すとき」とありましたが、本意を伺います。

**町長** 昨年、非常に景気が冷え込み一気に閉塞感が広まってしまう、そういう中で新年を迎えるにあたって、やはりしっかりと地に足をつけて、前向きにとらえて一緒に進もうではないかと、私はそういう意味で書かせていただきました。

**問** 平成の合併で幸手市との合併は破綻となりましたが、その後、現在までをどう総括されるか伺います。

**町長** 財政健全化計画のつとりまして、様々な需用にこたえるためにも、各事業の必要性、緊急性、それから費用対効果、これらを精査しながら経費の節減、そして業務の合理化を図って、財源の有効活用に努めてまいりました。

**問** 可能な限り単独運営は大谷町政から染谷町政

へと引き継がれましたが、単独町政か否かの判断基準はどのように考えられるか伺います。

**町長** まず、一つの判断基準として、住民からのニーズということがあります。これは当然住民主権という面もございますので、多くの住民の皆さんの合併が良いという声

が上がれば、当然これは合併を考えなくてはならないと感じております。もう一点は財政的な面ということもございます。

**問** 町長の施政方針の中で、より一層の徹底した見直しによる歳出の削減に努めるとありますが、どのようにされるか伺います。

## 問 町における国の公共事業について 答 圏央道、堤防強化事業ともに 工事が進行中です

**問** 圏央道、堤防強化事業が施工されております。平成21年度施工された内容と金額、そして平成22年度の内容と予算について伺います。

**町長** 現在までに橋脚が33基、それとインターチェンジ内の地盤改良工事、これらに着手する予定でございます。工事費はおよそ20億円と伺っております。堤防強化事業につきましては、山王、山王山地区において、総額4

億円を投じて延長450メートル、現在、盛土工事に着手しているところでございます。

**問** 町内の建設業者が国の公共事業を請負った実績について伺います。

**町長** 平成20年度に1社が元請で9600万円、平成21年度が同じく元請で1社が1億5600万円、平成20年度、21年度とも元請業者が町内の2

社です。  
**町長** 執行予算については、効率的、効果的に使われているかどうか検証するための事業評価を試行的に導入いたしました。

**町長** 財源の確保としましては、定住人口の増加や、また企業誘致による税収の確保、公共用地の売却や貸し付け、また下水道事業における水洗化率の向上、それから町内企業に対しては地下水から上水への転換の働きかけ、これらの対策を引き続き講じてまいります。

しても従業員の移動がなければ納税については同額ということです。

**問** 町の公共事業の発注も大変厳しい状況になっておりますが、町としての支援、育成を今後どう考えているか伺います。

**町長** 地元で大きな公共事業がありますから、当然地元業者でやれるものは地元業者でということ、国の方にお願いをし、今回堤防強化事業については下水道の工事、これは国からの補償費により町が町内業者に発注するというところで、国との約束もさせていただきました。